

地域美産研究会

〒241-0836 横浜市旭区万騎が原71

Chiiki Bisan Kenkyukai
71 Makigahara Asahi-ku Yokohama 〒241-0836

Tel 090-7827-8228

<http://www.bisankai.jp>

地域美産研究・探訪会ニュース No.79

発行：平成23年（2011）8月14日

平成23年8月27日（土）

第79回催事

横浜トリエンナーレと開催街区の歴史美産を巡る



「ヨコハマトリエンナーレ2011」が始まりました。今回のテーマは「OUR MAGIC HOUR—世界はどこまで知ることができるか？」です。初めて横浜美術館が「ヨコトリ」の会場になり、コレクションも含めながら美術館ならではの展示をしています。総合ディレクターは逢坂恵理子横浜美術館長で、三木あき子氏がアーティスティック・ディレクターを務めています。出品作家は65の作家及びグループ。メインの会場は横浜美術館と日本郵船海岸倉庫(BankART Studio NYK)で、そのほか周辺の会場でも関連イベントが行われます。なお送迎用のマイクロバスが利用できます。

今年の傾向は、大人から子供まで幅広い層に、ただ見るだけでなく参加して体験したり、モノと映像を前にしてその関連性を見て納得したり、気軽に楽しめるものが多いのが特徴です。国や民族の違いなど、社会的な背景が伝わってくる作品もあります。多様な世界の真相(神秘?)にちらりと触れることができれば幸運を手にしたことになります。

藤嶋 俊會：美術評論家。昭和18年（1943）会津若松市生まれ。中央大学法学卒、神奈川県庁勤務を経て、神奈川県芸術文化財団ギャラリー課長として県民ホール開館時から現代美術の展覧会企画等に永年従事。著書に「神奈川の野外彫刻」、「昭和の美術（彫刻編、共著）」ほか。Public Art Forum地域美産研究・探訪会世話人。

第79回催事

地域美産会世話人 藤嶋俊会企画案内「よこはまの美産探訪会-VIII」

『「ヨコトリ」を鑑賞しながら、横浜の歴史を散策する』

探訪会（研究会を兼ねて）

日 時	平成23年8月27日（土）13：00～19：30頃（雨天決行）
集合時間・場所	13：00 JR線桜木町駅改札口付近。
探訪コース（予定）	JR桜木町駅→横浜美術館→日本郵船海岸倉庫（BankART Studio NYK）→(時間があれば)横浜開港資料館→日本大通り→中華街（夕食）
案内と解説	藤嶋俊会
参加人数	20名
探訪会等の参加費	3ページ参照
個人費用負担	横浜トリエンナーレ入場料（正規の入場料は1,600円ですが、特別連携プログラム会場にも入場できるセット券は1,800円、大学生は前者が1,000円、後者が1,200円）。開港資料館は入場料200円、ただし横浜市在住で65歳以上は無料。
遅刻等の連絡	090-7827-8228（藤嶋）

交歓会

日時	8月27日（土）18：00～19：30
会場名	横浜中華街
参加費	3ページ参照
住所	横浜市中区山下町
電話・email	

（交歓会は、事前参加申込み必要）

第79回催事「よこはま美産会—VIII」参加申込書

記入日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

- 1 8月22日（月）迄にこの申込書をメール、FAX（045-361-0461）、郵送で。

ふりがな		性別	男・女	年齢	才	
氏名		職業				
住所	〒					
生年月日	大正/昭和 (西暦) 年 月 日					
会員資格	①会員 ②家族会員 ③法人会員 ④学生会員 ⑤一般（非会員）					
Tel(自宅)		Fax				
Tel(携帯)		e-mail				
②家族会員と③法人会員は、2名まで当該会員料金で参加可能。						
ふりがな		性別	男・女	年齢	才	
氏名		職業				
ふりがな		性別	男・女	年齢	才	
氏名		職業				

- 2 参加記入欄（該当金額欄に○を付けて下さい）

	1 探訪会	2 交歓会	3. 合計
会員	1,000	現地精算	
家族会員（1名分）	1,000	現地精算	
法人会員（1名分）	1,000	現地精算	
家族/法人会員の+1名	1,000	現地精算	
*学生会員	1,000	現地精算	
一般（非会員）	1,500	現地精算	

参加申込と受付 会員優先で申込先着順とします。以下の申込手続きに従って申し込んでください。

1. 参加申込欄の記入事項欄に必要事項を記入し、メールかファックス又は郵送で事務局へ。
2. 事務局から参加枠確保の連絡を受けて、指定振込口座（みずほ銀行 虎ノ門支店 店番号046 普通口座 口座番号 4053204 地域美産研究会 会計 渡辺久剛

に貴方の参加料金を振込料自己負担で振り込み。

3. 振込み無き場合は貴方の参加枠を喪失します。
4. 振込み済み料金払戻し；主催者側瑕疵の場合を除き払戻不可。
5. 申込締切日：8月22日（月）
6. 探訪会の傷害事故補償：美産会が費用負担する損保ジャパン「レクリエーション保険」で補償。

③ 貴方の振込金額（上欄〇印金額の合計を記入）： \underline{\hspace{2cm}}

Public Art Forum 地域美産研究会とは

日頃人々が生活する場に創り遺された地域の社会美産*たちを、専門家と一緒に現地に訪ね、歴史と文化、地域性や国際性、美や技、景色などの視点から眺めて味わい、地域の魅力を再発見・再評価する。

（*社会美産と地域美産：パブリックアートの視点を広げる為の新造語）

地域の魅力再発見・再評価を通して、改めてその土地ならではの歴史や暮らしに愛情・尊敬・誇りを感じ、心の充実安心を得て、自分づくり、家族との絆づくり、仕事づくり、会社づくり、街づくり、国づくりに役立つ何かを見付けながら、仲間達との交歓を楽しむ会員制非営利任意団体です。

会員入会者・催事参加者は、学生・社会人・各分野の専門家など時には外国人を含む幅広い人々が分け隔てなく参加して、各人ならではの参加意図に合った充足感を味わっています。

地域美産研究会は、街づくり景観づくりに関係する地方自治体や都市デザイン・アート分野の人々が集い活動した「パブリックアート・フォーラム」（平成6年～13年、代表幹事 田村 明）を継承した会で、非会員の方々も活動に参加できます。



Public Art Forum 地域美産研究会 設立のきっかけ

パブリックアート・フォーラムは、平成14年（2002）12月迄の過去10年間、美術館から街中に出て、各地の街角や広場に設置された彫刻に代表されるパブリックアートたちに焦点を合わせて、もっぱら欧米におけるそれらの役割・効果を調べて、普及・研究活動を行ってきました。

その後、米国のパブリックアート著名作家 マヤ・リンが、伊勢神宮を日本の優れたパブリックアートとして挙げたこと、環境美学研究家バーバラ・サンドリッセがその著述「パブリックアートとしての鳥居、その不思議な魅力（2000年刊）」で、日本の鳥居をパブリックアートとして大変高く評価したこと、平成13（2001）年、女史の来日を記念して開催した特別フォーラム「バーバラ・サンドリッセと都心の鳥居を探访し、女史の話を聞く会」での体験が、パブリックアートに対する私達の視点を大きく広げて、新しい活動を促しました。

私たちのごく身近に古くから在って、地域の生活と密接に係わりながらその地の生活文化を創り育て、人々の心の拠り所になってきた、その地ならではの美しき良きモノたちを、従来型のパブリックアートを含めて現地に訪ね、肌で味わい評価する。

それらの再発見・再評価を通じて、地域の暮らしと歴史に愛情・尊敬・誇りを感じ、心の充実・安寧を得ながら次代を生き抜く力とする。「Public Art Forum 地域美産研究会」（昨年度迄は「地域美産研究・探訪会」）は、このような主旨から平成14年12月1日に設立された活動団体です。



運営：アドバイザー・会員等の意見・提言を受けて「世話人会」が運営を担う。

(1) 世話人会

創立者／相談役： 杉村 荘吉 (パブリックアート研究所代表)
代 表： 藤嶋俊會 (美術評論家、元神奈川芸術文化財団)
副 代 表： 伊豆井秀一 (埼玉県立近代美術館主席学芸主幹)
世 話 人： 石村誠人 (監事：駅・街デザインとパブリックアート研究家)
渡辺久剛 (会計：三井不動産ビルマネジメント(株))
長谷川総一郎 (彫刻家：富山大学教授)
橋本 完 (アート・インキュベータ：アトリエまほろ主宰)
宝利 修 (ITアドバイザー：ぶんか合同会社プランナー)

(2) アドバイザー 加藤 源 (都市計画設計家、日本都市総合研究所代表)

後藤元一 (環境設計家、元札幌市立高専教授)

建島 哲 (美術評論家、国立国際美術館館長)

山岡義典 (日本NPOセンター副代表 理事)